



## 市長室だより

### 日本遺産 「富田城跡」

「富田城跡」を紹介するとき、日本百名城や国指定史跡を使っていますが、さらに「日本遺産」という肩書が加わりました。平成28年4月に文化庁から認定された日本遺産「出雲國たたら風土記」は、安来市・雲南市・奥出雲町にある文化財30件で構成されています。5月24日、この構成文化財に「富田城跡」が追加で認定を受けました。

今回の追加認定は、文献調査を進める中、尼子氏とたたら製鉄との関係が確認できたことによるものです。戦国時代に鉄生産の中心地であった奥出雲地方を治めた尼子氏は、鉄の生産と流通に大きく関与していたのです。

「富田城跡」が日本遺産に与える意義は大きく二つあります。まず、物語（ストーリー）に中世の要素が加わったことです。これまでは神話・古代と近世以降の文化財が中心でしたが、これらをつなぐ遺産が認定されたこととなります。もう一つは、技術、民俗、地理的な観点の主であった構成文化財に、政治・経営的な要素が加わったことです。これにより、鉄づくり千年が生んだ物語がより一層、豊かに紡がれたこととなります。

9月には「全国山城サミット安来大会」および「戦国尼子フェスティバル」が開催されます。今回の追加認定が追い風となり、山城日本一と評される「富田城跡」と「たたら」に、より一層注目が集まるよう情報発信をしていきます。

## 市長短信



◀5カ年計画で整備が進む月山富田城跡（4月）

# どげなかわ

2018 7 月号

も く じ

- 2 市長室だより
- 3 市政トピックス
- 4 特集①：農業サポーター制度  
皆さんの力が農業を盛り上げます
- 6 特集②：新しいまちを創る
- 8 保険料・住民税が決まりました
- 11 募集します・安来市美術展
- 13 なかうみマラソン全国大会
- 14 たうんとぴっくす
- 17 食育レシピ/加納美術館だより
- 18 健康の窓
- 19 新刊図書紹介
- 20 「ジョーホーの森」各種お知らせ
- きらり光る☆地域（裏表紙）

## 別刷 市民カレンダー

7月の行事/日曜日・祝日診療など

## 今月の表紙

### 比田の花田植え

17世紀から伝わる比田地区の「牛供養・花田植」が一年ぶりに披露され、早乙女たちが田植えを行いました。快晴の下、着物の藍色やたすきの緋色、稲の苗色などが鏡のような水面に映え、より一層、華やかな絵巻を演出していました。

撮影日/5月18日 場所/広瀬町梶福留

